

統計の交差点

第15回全国統計大会開催地きまる

統計関係者の祭典である全国統計大会の今年の開催地が下記のとおり決まりました。

この開催地の決定は、全国統計協会連合会の役員会で討議決定し、第14回全国大会で発表されております。

その後、開催地と決定した青森県、青森市と全統連が協議し、開催地の希望もあつて夏期の8月26、27日と決定いたしました。大会の行事は大体例年どおり進められる予定であります。

記

開催地 青森県青森市 市民会館

期 日 昭和39年8月26、27日

38年度県統計大会終る

38年度の本県統計大会が、梅香る去る3月3日水戸市内茨城会館で、関係者700余名が参加、盛大に行なわれました。開会のことば、知事挨拶、功労者、図表コンクール入選者の表彰等があり、宣言、講演、演芸と盛り沢山の行事に参加者もこの1日統計マンの祭典を、心ゆくまであじわい午後2時散会した。

この大会の模様については本誌次号に掲載の予定であります。

労働力調査特別調査

労働力調査特別調査が3月分労働力調査に付随して行なわれる。これは毎月定期的に行なっている労働力調査の特別調査として、国民の平常の就業状態に関してその形態、意識、所得などを調査し、毎月末1週間の就業状態に関する労働力調査の結果を補なうと共に、いわゆる不完全就業などの実態を明らかにし、わが国雇用問題に対する諸施策のための基礎資料を得ようとするものである。この調査では、主な仕事に対する追加就業希望の有無、転職希望、別な仕事に対する追加就業希望について最底希望収入、その他新しい調査項目が加えられている。県内における説明会は次の日程で行なわれました。

3月5日 日立・土浦

3月6日 下館・潮来

個人企業経済調査では

商法および所得税法の改正に伴い、「たな卸資産計算帳」の改正を行つた。これは今までの時価法および原価法によつていたたな卸資産の評価方法が原価法のみが認められることになつた。時価法の代りに時価と原価と比べ低い方をとる低価法が例外として認められることになつたため、従来なたな卸計算帳が改正され、新しいたな卸計算帳によつて調査が行なわれる。

この説明会は、すでに全国各ブロックで行なわれた。

統計職員養成所について

統計職員養成所では、現在実施している6ヶ月間の研修とは別に、短期間(5週間)の「専科研修課程」を設けることになつた。

この専科課程は、地方公共団体からの要望によるもので、6ヶ月研修をうけがたい事情にある地方公共団体の職員に対して、短期間の統計関係の研修を行なうことを目的としており、修業者には、6ヶ月研修修業者と同様統計法第10条による統計主事の資格が与えられる。

入所方法は次のようであります。

入所方法

都道府県知事の推せんにより、統計職員養成所で書類選考

入所資格

イ、現に都道府県又は市町村に勤務している職員
ロ、原則として年令20才以上40才までのもの
ハ、新制高校卒またはこれと同等以上の学力であると認められたもの

研修期間および回数

5週間 年2回(5月および11月)

定数

30名 但し事情により増減あり

研修科目

統計理論および実習(36単元, 54時間)

統計実務および実習(34単元, 51時間)

国の統計業務(20単元, 30時間)

地方統計業務(6単元, 9時間)

統計行政(4単元, 6時間)

その他

研修費は推せん庁の負担で、修業生には修業証書が与

えられかつ統計法第10条第5項第4号による統計主事の資格が与えられる。

統計協会監事会

定期総会をひかえて、去る3月17日水戸市内で開かれました。議題は昭和37年度決算承認の件

市町村民所得推計要領

社会分野の高度化にともない要望されている、市町村民所得推計の作成要領を現在県統計課において、立案計画中であります。成案を得次第各市町村当局に詳細をお知らせいたします。

39年農業基本調査結果表の審査

昭和39年2月1日現在で実施した、県農業基本調査については絶大なご協力を頂きました、厚く感謝いたします。各市町村においては目下集計事務に忙殺されておられる事と思いますが、結果表の合同審査を県下16ヶ所で3日中に行います。関係者のご出席をお願いいたします。

県勢要覧の発売予約受付中

手近な統計資料として、皆様から愛用されている県勢要覧(38年版)の予約受付中でございます。希望者は当協会まで至急お申込み下さい。定価1部170円(送料40円)

茨城県誕生当時の県職員

県庁の職員が「官員さま」と呼ばれて、地方民から昔の武士のように思われたのは、明治の頃の話である。特に明治12年(1879)県会が開設されぬ前は、県政批判など公には全然できなかつたのだから、県の長官である県令の地位が、昔の殿様ようだったのも不思議ではない。今からおよそ90年ほど前、新治県や千葉県の一部をあわせて、今の茨城県が誕生した当時、官員数はどの位あつたものか、そのうち茨城県人は何人位いたのか、これも昔の県政を知る上に参考になるだろう。当時も今の職員録にあたる官員録があつて、年に何回も改正されたらしいが、散逸してその全部を見るのは困難である。

さて、明治8年9月といえば、今の茨城県が発足してから4ヶ月後であるが、この時の官員録によると、奏任官は長官である浜松県出身の権令(地位は県令の次)中山信安と、鹿児島県出身の参事本田親英の2人で、判任官は122人、そのうち本県人は42人、それも上位に少なく下位に多い明治9年2月改正の官員録をみると、奏任官は前と同じで、判任官が94人にへり、本県人は40名で、そのほかに58人の下級の等外官員があり、うち大部分の

40人が本県人で占められている。全体で154人、こゝは、水戸のほか、土浦と下妻の各支庁勤務のものを含んでいる。これ以外に第四課員といわれる警察関係を見ると、巡査を入れて183人のうち、幹部である判任官9人には本県人はなく、等外になると31人中23人、巡査は143人中118人の多数が本県人である。こうした割合は同年7月改正の官員録でも大した変りはない。こうしてみると各課とも、幹部はほとんど他県人で、中でも鹿児島県人が目につくのは、薩長藩閥政権と結び付けて考えたい一傾向である。それに反し茨城県人が下級になるほど多くなつていのは、明治新政府の地方政治を考える上に注目されるものである。また当時の官員数であるが、警察関係を除いて150人程度、明治9年の県人口は約86万人、今日の人口はその2倍余りなのに、県の職員数は本庁だけで1,700人余り、出先機関を加えて約6,800人と、比較にならぬほど、人口の割に職員数が激増している。いかに県政が当時とくらべ複雑多岐にわたつてきたかがわかつてともに県内の隅々にまで県政の手が及んでいることが感じられよう。それにしても昔の茨城県庁はなんと少人数だつたことか。

(茨城大学教授 瀬谷義彦)

第12回統計図表全国コンクール作品募集

毎年行なわれております統計図表全国コンクール作品募集について、今年は8月開催の全国統計大会を控え、早目に募集いたします。

希望者は下記にご留意のうえ応募下さい。

記

主催 財団法人全国統計協会連合会

応募資格 第1部(小学校の児童)

第2部(中学校の生徒)

第3部(高校以上の学生)

第4部(一般)

課題 自由(但し、第1部の作品は児童が観察した結果を図表化したもの)

規格 第1部・第2部の用紙規格72.8cm×51.5cm
(B・2仕上寸法)

第3部・第4部の用紙規格103cm×72.8cm
(B・1仕上寸法)

各部とも紙質・色彩その他の材料については自由(単色も可)

送り先 県統計協会

メ 切 日 39年6月20日必着

その他詳細について不明の際は、県統計協会(県庁内)までご連絡下さい。

☆近着統計資料案内☆

<不 定 期 刊 行 物>

資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者	資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者
総 記			賃 金 の 動 向	37年	県 労 政 課
従業・通学地に関する結果速報 (三重県)	35年	総 理 府 統 計 局	生活保護統計年報	37年度	県 社 会 福 祉 課
" (宮城県)	"	"	道路現況調書	38年4月	県 土 木 部 道路補修課
" (鳥取県)	"	"	都 道 府 県		
国勢調査報告	"	"	北海道統計要覧	37年	北海道企画部
都道府県統計予算の現状	37年	行政管理局統計基準局	富山県民所得白書	36年	富山県総合計画部
統計行政の推移	38年10月	"	製産動態統計及び繊維流通統計調査年報	37年	東京都総務局統計部
国勢調査報告(鳥取県)	35年	総 理 府 統 計 局	神奈川県の実況と労働時間と雇用	37年	神奈川県統計調査課
農家租税公課諸負担調査報告	36年	農林省統計調査部	税 務 統 計 書	37年	鳥 取 県 総 務 部
人 口			郷 土 の す が た	37年	岐阜県企画
都道府県別推計将来人口	40年～	厚生省人口問題研究所	県の経済の動向	38年版	管理部統計課
人口問題研究所年報	45年	"	福島県林業統計書	38年	神奈川県企画調査部統計課
わが国の年次別標準化人口動態率	大正9年～昭35年	"	滋賀県のしおり	38年	滋賀県文書統計課
人口問題研究	38年7月	"	福岡県勢要覧	37年	福岡県総務部統計課
第4次産力調査集計結果表	38年4月	"	商業調査結果報告書	37年	宮城県調査課
経 済・財 政			学校基本調査報告	38年	東京都総務局統計部人口統計課
卸売物価指数の解説	38年11月	日本銀行統計局	学校保健調査結果速報	38年度	神奈川県企画調査部統計課
欧米諸国における卸売物価指数の作成方法	"	"	東京都統計年鑑	37年版	東京都
卸売物価指数作成方法上の問題点に関する外国資料	"	"	京都府統計書	36年版	京都府
経 済 要 覧	39年	経済企画庁調査局	工業動態統計調査速報	38年	東京都総務局統計部
社 会・労 働			府 民 所 得 の 概 要	37年	大阪府企画部統計課
郵政統計年報	37年	郵政省貯金局企画課	静岡県産業連関表	35年	静岡県企画
毎勤統計調査地方調査結果表 (香川)	37年	労働大臣官房労働統計調査部	グラフしずおか	38年	調整部企画課
貯蓄動向調査報告	37年	総 理 府 統 計 局	岩手県勢要覧	38年	静岡県統計協会
事業所統計調査結果速報	38年	"	和歌山県工業の実態	37年	岩 手 県
産 業			事業所統計調査結果速報	38年	和歌山県統計課
工業統計表(品目編)	36年	通産大臣官房調査部統計部	法人企業経済調査結果概要	37年	愛 媛 県
" (産業編)	36年	"	栃木県のすがた	38年	群 馬 県
工業統計速報	37年	"	県民所得推計報告	37年	栃 木 県
漁業動態調査	37年	農林省統計調査部	愛媛県産業構造の解明	38年	群 馬 県
漁業養殖漁獲統計表	37年	"	大阪府の人口	38年10月	愛 媛 県
茨 城 県			大阪市勢要覧	38年	大 阪 府
県民衛生の動向	37年	県 衛 生 部	工業統計調査結果速報	37年	大 阪 府 統 計 課
県農業動向資料	38年	県 農 林 水 産 部 構 造 改 善 課	大阪府勢要覧	38年	徳 島 県
県農業の地域別動向	38年	"	北海道工業の現況	37年	大 阪 府 企 画 部 統 計 課
林業生産統計年報	37年	農 林 省 茨 城 統 計 調 査 事 務 所	山形県工業の実態	37年	北 海 道 企 画 部
			神戸市統計書	37年	山 形 県 統 計 課
					神 戸 市 統 計 課



人 間 雑 話 (19)

茨城大学教授 塚 本 勝 義

男たちを集めて相談をかけると、すぐ話がきまる。女たちに相談すると、こまかいことを、ああでもないこうでもないと言い合つて、なかなかきまらぬ。ところで男たちは決めておきながら、さつぱり実行しないが、女たちの方は、話がまとまれば、こちらが恐縮するほどよく実行してくれる——これは、さる農業協同組合長さんの述懐だ。男と女のちがいを見事につかんだことばだ。

議会の方は男性でかため、執行部を女性だけにすると万事うまく行くかも知れない。

○ ○ ○ ○

自分の意見をどう述べるかは工夫する。「物も言いようで角が立つ」というから、昔の人だつて工夫していたらしい。しかし、意見をどう受け取るか、という受身の姿勢は、てんで思案されなかつたようだ。自分はどんな態度で人様の意見をうけたまわっているか、ほとんど自覚症状のない人が多い。自分の頓馬で聞きちがえておきながら、「はつきり言わないからこんなことになつたんだ」なんて文句をならべる。

指導的立場に在る人は、特に意見の受け取り方を勉強してほしい。

水戸黄門は感懐のはげしい人物だつたらしい。家来たちが何か意見を述べると、その良し悪しによらず、すぐ顔色を変えた。殿様の顔が七面鳥のように変わるのでは家来たちも意見を述べにくい。殿の御意ひとつで簡単に首がころげ落ちる時代だつたのだから。

ところが、黄門は自分の顔の変化をちやんと知つていた。だから「自分はお前たちに意見されると、すぐ顔色を変えるくせがあるがその意見が正しいなら、いくら腹が立つても押さえつけて採用する。この顔色にたまげないで、どしどし意見してほしい。」と家来たちに告げたそう。

やはり水戸黄門は本物の指導者だつた。人を使える名君だつた。

○ ○ ○ ○

自分はせつちだとはつきり知つておれば、案外ころばぬ。自分はのろまだと自覚しておれば遅刻なんかしない。俺は男だとわかつていれば女の真似なんかしないしわたしは女だと明らかに知つておれば男の真似なんか馬鹿らしくて出来ない。自己を知ることは有難い。「汝自

身を知れ」は人間が人間として生きる限り不朽の箴言となるだろう。

議会なども、議員諸公が、自己の真姿を明確につかんだなら、もつと静かになり、もつと能率的になるかも知れない。夏目漱石は、「生徒を人格ある人間と考えたらとても講義はできない。机の上に並んだ首だときめて講義しているんだ」と言つたそう。随分乱暴なことばのようだが、その中味は「謙虚」の一語につきる。自己の力なさを自覚していればこそ言えたことばだ。

人を知ることも大切だが、自己を知ることは、それ以上に大切なようだ。

○ ○ ○ ○

女は情熱に駆られると、不思議にも少女らしい顔をする、と芥川竜之介は言つた。男は情熱に駆られると、不思議にも猛獣らしい顔をする、とは言わなかつた。

○ ○ ○ ○

人生の悲劇の第一幕は親子となつたことにはじまつている——これも芥川のことば。出来のはずれた子が生まれても作り直しがきかない。出来のまづい親を持つても交換不可能だ。なぜこんな子になつた、なぜこんな親を持つたと責め立ててみたところで、永遠に「なぜ」は解決されない。正に悲劇だ。この悲劇に気づかず「なぜ」の投げ合いをしているのは喜劇でさえある。人生の喜劇の第一幕も親子となつたことにはじまる。

○ ○ ○ ○

野口雨情の「枯れすすき」はみんな知つてる唄だ。誰でもいい気持で歌う。正に民衆に愛されてる唄だ。いつまでも民衆に愛される唄だけが、本物の傑作というものである。しかし批評家という連中は決して「枯れすすき」をほめないが、ハーンも言つてるように批評家の評価はあてにならぬ。あてになるのは民衆の評価だ。民衆の批判に堪えた作品だけが「古典」となる。

政治の面なんかでも同じ理屈が通用しそうだ。ジャーナリズムや政治評論家にほめられる政治が不朽だとはいえない。やはり民衆の有難がる政治、よろこぶ政治が本物だといえる。だから民衆の愚を笑う政治家なんかろくなものはいない。悲喜哀観を民衆と共にする政治家のみが偉大な政治家なんだ。